特定非営利活動法人（認定NPO法人）
パレスチナ子どものキャンペーン　2021年11月15日発行 no.121

サラーム

平和

2021年秋も前向きに地道に

日本国内では感染状況が落ち着いているものの予断は許せませんが、皆様お変わりないでしょうか。パレスチナでは、5月のガザ空爆、東エルサレムやヨルダン川西岸での入植地拡大や、軍と入植者の乱暴狼藉など、相変わらず暗いニュースが続いています。それでも人々は未来を諦めず、前向きに日々を過ごそうとしています。また、崩壊寸前の経済状態にあるレバノンでも、人々が生存をかけて苦闘しています。今号では、パレスチナ子どものキャンペーンが、各地で地道に活動を続けている活動をご紹介します。

ヨルダン川西岸とガザ

パレスチナの新学年は秋に始まります。今年は感染防止策を取りながらも、対面授業になりました。ヨルダン川西岸とガザ地区で、小学校の理科教室を修復し実験道具をそろえ、理科実験を子どもたちが経験できるよう教育支援を進めています。

ガザ

治療や補助装具の提供だけでなく、家庭でも続けられるよう、お母さんたちにもリハビリ指導をします。

ガザ

ガザでは障がい者支援を続けています。

ガザ

職業訓練、リーダーシップ研修などのほか、時には遠足に出かけるなどして、引きこもりがちな女性の障がい者の社会参加を進めています。

ナワール児童館

ナワール児童館の子どもたちは、「笑いのキャンプ」や演劇、アートなどの活動に参加して、5月の空爆のショックから立ち直ろうとしています。